

ミヤコシ

業界最高速ラベル IJP - インキは水性顔料アンカー財不要 -

ミヤコシ(千葉県習志野市 ☎047-493-3854)は業界最高クラスとなる毎分 50m の印刷速度を達成し、小ロットのフルカラーラベル印刷に特化した高速インクジェットプリンター(IJP)「MJP13LX-2000」を開発、近く発売する。

近年、急速に高まりつつある少量多品種化の傾向はラベル市場においても例外ではなく、印刷会社には高品質を維持しつつ、小ロット・短納期に対応することが求められている。しかし小ロット生産に対し、コンベンショナルな凸版やオフセット方式では生産コストがかかり、印刷までに複数の工程を要するため採算維持は難しい。またデジタル印刷機では、品質が不十分であったり、ランニングコストが非常に高いといった点で、十分な収益確保は困難だ。

こうした課題をクリアし、少量多品種の領域でもラベル印刷会社により高い収益をもたらすのが、今回発表した MJP13LX-2000 だ。

同モデルは、同社が得意とするトランザクション向けオンデマンド印刷機の豊富な納入実績によって蓄積された IJP および用紙搬送技術をベースに設計。片面最大 8 色で、最大印刷幅が 318mm。印刷速度は業界最高 s クラスの毎分 50m を実現した。またラベル向けの IJP としては業界初となる水性顔料インキを採用し、既存のデジタル機と比較して大幅にインキコストを抑え、集積確保の大きく貢献する。

高解像度 1200×1200dpi のプリントヘッドを搭載し、多値液滴制御により高精度の網点再現および豊かな階調表現を可能にするなど、印刷品質にもこだわった。さらにアンカー剤をプレ塗工することなく多様なラベル機材に印刷できるのも大きな特徴。従来機では難しかったミラーコート・キャストコート紙にも問題なく印刷できる。

加工部はマグネット式ダイカットロールおよびカス巻き上げ装置を標準装備、ワンパスでのフィニッシングを実現する。ラミネート、ニスコーティング等の付加価値機能についても順次拡充の予定。オプションでレーザー加工機のインライン搭載が可能。毎分 10m の運転速度でバリエابل(可変)パターンのダイカットを実現し、個人向けラベルなど極小ロットにも対応する。

なお、同社は 11 月 27 日～29 日の 3 日間、千葉県八千代市のミヤコシテクノセンターでオープンハウスを開催。同 IJP を含む印刷機やレーザー加工機を一般公開する。

(2012 年 10 月 22 日 包装タイムス 掲載)